

立雛

たちびな

江戸時代中期（18世紀） 松井文庫所蔵

3月3日は雛祭り。かつては女兒の健やかな成長と健康を願い、お内裏様を中心に三人官女や五人囃子はやしがずらりと並ぶ華麗な段飾りが各家庭にうつらえられました。近年は生活事情も変わり、これらの雛人形が旧家や商店街に集められ、地域おこしの一環として披露されることも増えました。

一方、家庭では、玄関やリビングルームの一角に手のひらサイズの愛らしい雛人形を飾るのが人気です。日本の住宅事情では「最小のスペース」というのが鍵。そう考える皆さんにお勧めの雛人形があります。「立雛」です。文字どおり立ち姿の雛人形。スペースも取らず、現代の住宅事情にぴったりです。座姿の内裏雛とは印象も異なり、素朴ながら可憐さもあつて素敵です。

「立雛」は、雛人形のなかで最も古い形です。雛祭りの成立には、複数の習俗や伝統が影響したと考えられていて、平安貴族の子どもたちのままごと遊びに使われた「ひいな」人形と厄災の身代わりとなる信仰的要素と鑑賞的要素を併せ持つ「ひな」



▲立雛 江戸時代中期（18世紀）松井文庫所蔵

人形が融合、さらに江戸時代の武家社会が創り出した節句行事に取り入れられ、ようやく3月3日（上巳じょうし）の「雛祭り」が成立しました。

玩具の「ひいな」は素朴な立ち姿の人形だったと思われ、また信仰的要素を持つ「ひな」は穢れや罪を託して川や海に流す「ヒトガタ（人形）」が展開したもので、これも立ち姿です。「立雛」の源流ははるか古代・中世までさかのぼるものでした。

松井家には、江戸時代中期に作られた立雛が伝来、今年も享保雛や古今雛とともに飾られています。松井家の雛人形は、美術的な価値はもとより、雛人形史を概観することができる稀有なコレクションでもあるのです。

（市立博物館 学芸員 石原浩）

■松井文庫展示案内

「松井家の雛祭り」「わび茶の美」

- 会期 開催中～3月29日(日)まで
 会場 松浜軒内 松井文庫展示場
 午前9時～午後5時
 （入園は午後4時30分まで）
 閉園日 毎週月曜日
 （祝日の場合はその翌日）
 観覧料 一般 500円
 小中学生 250円
 問合せ 松浜軒／松井文庫
 ☎ 33-0171

日奈久温泉 スプリングフェスタ

檜山さくらウォーク

とき 3月29日(日) 雨天中止

午前8時30分受付開始
 ※午前9時開会式、午前9時30分ウォーキングスタート

ところ 檜山・日奈久温泉神社一帯

集合場所 日奈久温泉センター「ばんぺい湯」前

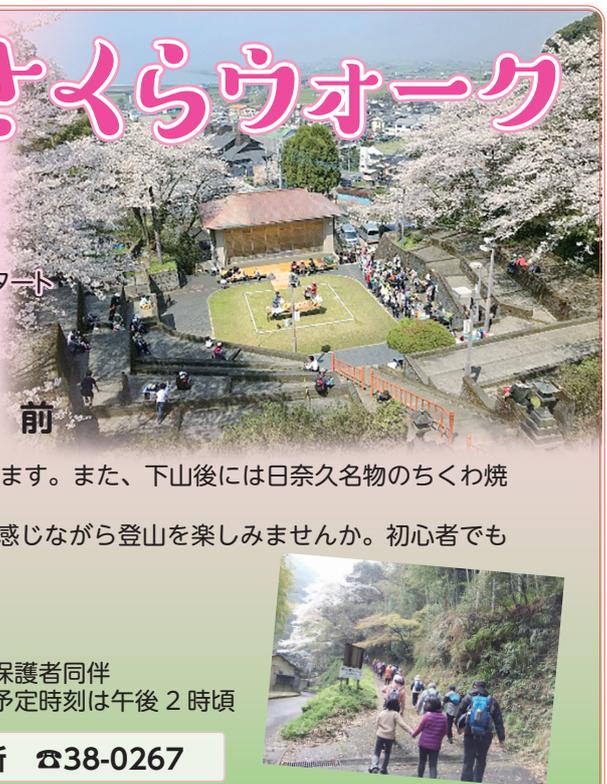
内容 檜山登山後、山頂で昼食を食べ「宝探し」をします。また、下山後には日奈久名物のちくわ焼き体験や豪華景品が当たる抽選会を予定。

当日は、日奈久温泉神社の桜が見頃です。春を感じながら登山を楽しみませんか。初心者でも安心なコースです。

費用 大人 1,000円、子ども（中学生以下）500円
 （ちくわ焼き体験券、入浴券、抽選会引換券付き）

その他 ※予約不要 ※小学生以下は保護者同伴
 ※飲み物、昼食は各自で準備 ※イベント終了予定時刻は午後2時頃

問合せ 日奈久温泉観光案内所 ☎38-0267



今月の表紙

やつしろのお雛祭りが市内各地で開催されています。表紙の写真は本町一丁目の八福商店に展示されているおひな飾りです。同店ではひな人形や約1000体の千代紙人形が並べられています。きれいなおひな飾りを見に出かけてみませんか。